

OFFICIAL DOCUMENT

三者会議のやり方

役割を分けた三者で意思決定する、クロコ式の中核

クロコ式の核心は、役割を分けた三者で意思決定することです。この「構造」こそがクロコ式の独自性です。

三者の役割

判断役(人間) — 問いを立てる。最終判断を下す。結果に責任を持つ。

戦略役(AI) — 状況を整理し、選択肢・論点・段取りを示す。

批判役(AI) — 健全な批判者として、リスク・反対意見・抜けを指摘する。

戦略役と批判役は、別々のAIでも、1つのAIに役を切り替えさせてもかまいません。大切なのは「整理する声」と「批判する声」を分けることです。

進め方

1. **1チャット1テーマ** — ひとつの会議では、ひとつのテーマだけを扱います。論点が混ざると判断が濁るためです。
2. **戦略役が整理する** — 判断役の問いを受けて、戦略役が選択肢・論点・トレードオフを並べます。
3. **批判役が斬り込む** — 戦略役の案に対し、批判役が「都合の悪いこと」を必ず出します。批判だけで終わらせず、代替案・改善策をセットにします。
4. **判断役が決める** — 出そろった材料をもとに、人間が最終判断します。AIの意見は判断材料であって、結論ではありません。
5. **記録を残す (Rev管理)** — 決めたこと・理由・前提を記録します。版が変わるたびに履歴を残し、「いつ・何を・なぜ決めたか」を追えるようにします。

なぜ役割を分けるのか

ひとつの声だけで進めると、AIは持ち主に同調しがちです (イエスマン化)。「整理する声」と「批判する声」を構造として分けることで、判断役は賛否両面の材料を得たうえで決められます。

詳しい原則は `PRINCIPLES.md` を参照してください。

本書は、クロコ式 公開リポジトリの `METHOD.md` (正本) を体裁化した公式版です。
内容の正本は GitHub 上の `METHOD.md` です。その同一性は下記ハッシュ値により検証できます。
`METHOD.md` SHA-256: 4c57698b8264a932ad6d144d87575f959db5c32777658cdbc15e7141e2341a8
「クロコ式」は株式会社インペリアル・メッセンジャーの商標です (出願中)™。方法論は CC BY 4.0。
Rev. 1.1 / 2026-05-31 発行